



進路だより

～きぼうの道～

秋田県立能代支援学校

進路指導部 NO.2

令和4年6月24日発行

～日々の何気ない関わりを通して培われるもの～

高等部主事 伊藤健人



高等部の学習は全てが社会生活に向けた学習です。その中で年2回（3年生は随時）実施される現場実習は、生徒が自分の実践を自分で振り返ることのできる大切な機会となっています。

1年生は初めての実習を校内で行い、「挨拶すること」や「マナーやルールを守ろうとすること」など、社会人としての在り方も合わせて学びます。後期現場実習からは全員が校外にて実習を行い、事業所からの評価をもらいます。仕事ができるかどうかだけではなく、挨拶や受け答えの様子なども評価結果に大きく関係している、大切な要素です。

伝えられたことや質問内容を判断し、反応するためには、コミュニケーションの力だけでなく、知識や自信が必要です。教室での学習、農場や「思い出の森」での活動、休み時間など、様々な場所と状況の中で様々な人間と関わりながら生活することは、それだけで大きな経験となり、知識の蓄積となります。生徒たちの可能性を広げるのは、日々の何気ない関わりの一つ一つなのだ、我々大人が意識しながら接していきたいと思います。

高等部 1・2年生前期実習

高等部 1年生

校内実習

5月26日(木)～6月8日(水)【10日間】

今年の前期校内実習では3つの模擬会社を設定し、1日勤務を3、4日間行った後、別の模擬会社に変わるという形態で行いました。農園作業は暑い中、畑や花、果樹の栽培に関わる仕事をしました。その他、校内清掃をする清掃会社、銅線のリサイクルをする銅線会社で10日間充実した実習を行うことができました。実習後の振り返りでは、「働くことの大変さが分かった」、「これからは挨拶をがんばる」など、様々なことを学んだ様子でした。



高等部 2 年生

現場実習

5月26日(木)~6月8日(水)【10日間】

14名それぞれが実習中の仕事の部分はもちろん、家庭での生活の時間も含めて目標を設定して実習に臨みました。電車や自転車、実習先の送迎サービスを利用して通勤するなど、より卒業後のイメージをもちやすい実習になりました。

実習後の振り返りでは、「ハキハキと挨拶することができた。」「苦手だと思っていたことにも取り組むことができた。自分でも驚いた。」といった感想も聞かれ、充実した10日間を送り、これからの学校生活や進路に向けて成長のヒントを得た様子でした。



ハッピーマッシュ



就労支援センターこまち



ザ・ビッグ



グループホームあぜみち



大潟つくし苑



りぼん



伽羅



新事業所開設のお知らせ

就労継続支援B型

チョコのしろ (能代市)

開設しました!

施設の詳しい紹介は次号発行の進路だよりでご紹介します。